



広報

3月

2007 March No24

なかどまり

■シリーズ

「活カ」

11

春を呼ぶ、ヤリイカ棒受網漁が始まりました。

小泊地域の下前地区で2月27日、午後4時に32隻の漁船がヤリイカ棒受網漁のため漁場へ向いました。漁はアンカー（イカリ）を海底に下ろし漁船を固定、午後7時頃から漁火を灯し集まってきたヤリイカを棒受網ですくい、漁があると翌朝の4時頃まで漁場にいます。

小泊地域では、好漁場で磯資源に恵まれ、活ヤリイカは東京築地の中央魚市場でも小泊ブランドとして大きな需要があります。近年はつくり育てる漁業への転換を目指し、沿岸域にヤリイカ産卵礁を設置してきました。

ヤリイカの豊漁が地域の活性化に寄与されることを期待しています。